

「森のかけはし」の舞台となる森林について

おはなしの舞台は、夏緑樹林です。日本では鹿児島県から北海道、世界では北アメリカ東部、ヨーロッパ中央部、東アジア中北部の冷温帯に広く分布し、ブナ属、ナラ属、シデ属、カエデ属などの種で構成されています。

舞台は、奈良県と三重県の県境にある大台ヶ原のブナ林とし、季節は9月ごろを想定しました。



キーワード
「地球温暖化」

絵本の中に出てくるキーワード「地球温暖化」。

みなさんも聞いたことがあるでしょう。

「地球温暖化」をとめるために、この絵本の主人公たちは、種をまき、苗を植え、木を育てました。

みなさんも、身近な生活の中で、何が出来るか、考えてみてくださいね！

KOBELCO森の童話大賞HPの「おはなしを書く前に」で、森についての詳しい情報を発信しています。ぜひご覧ください。
HP www.kobelco-mori-ohanashi.jp



絵本活用のヒント

第8回小学生の部金賞受賞作品

「森のかけはし」



KOBELCO 森の童話大賞について

森はたくさんのいきものの命を育み、空気をきれいにし、水をたくわえ、私たちの暮らしに安全と豊かな恵みを与えてくれます。でも、一度森が元気を失ってしまうと、元通りにするには長い年月と、大変な努力が必要になります。

このような「森」を理解し、大切にすることを、次の世代を担う子どもたちに育んでもらうため、KOBELCOグループは「森」をテーマにしたおはなしを募集し、絵本を作っています。

この絵本を読んで、一人でも多くの子どもたちが、森をはじめとする自然について考え、かけがえのないものであると気づき、そして、いつか、森を、自然を、元気することを何か一つでも実行していただければと思っています。

「森のかけはし」の世界

オオイタヤメイゲツ

高木で10-15m。
葉はハウチワカエデより小さく、
コウチワカエデより
大きい中間サイズ。
分裂が多く
9~13に裂ける。



ミズナラ

20-30mの高木。
葉は、葉先に近い側で幅が最大になる倒卵形。

ブナ

日本固有種。
高木で20-30m。
葉はふちが大きく波打つ。

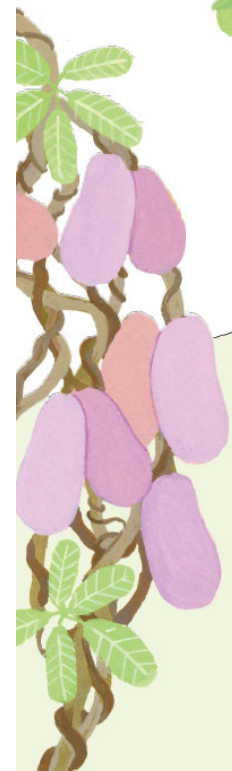
カワチブシ

花期：8-10月。
50-180cm多年草。
林縁、草原など
比較的明るい所で育つ。



アケビ

つる性の植物。
全縁で楕円形の
小葉5枚からなる。



コノハズク



大台ヶ原に生息する 生き物たち

※このおはなしは、奈良県と三重県の県境にある大台ヶ原のブナ林を舞台に設定し、舞台に合わせた動植物を描いています。

オオダイガハラ サンショウウオ



アナグマ



ナガレヒキガエル

ニホンカモシカ